

7 農林水産業協力事業

(農林業協力費、産業開発協力費、技術協力センター費、開発協力費)

〔国名〕 プロジェクト名称等	協力内容	突 績												分 野 等					
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3						
〔バングラデシュ〕 農業普及 ① 協力期間 1. 50.3.14 ~ 50.10.12 (R10) 2. 52.10.13 ~ 52.10.12 (協定) ② 予算費目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 農林省中興農業普及技術開発研究所 ④ 協力概要 (第5年次) 中興農業普及技術開発研究所におけるの農業普及のための方法及び技術者の開発の農業技術実用化試験の普及及び育成のための教育養成と技術担当官の訓練の普及実地(3ヶ所)の設置、運営に協力する。54年度は巡回指導チームの派遣、専門家派遣、機材供与、カウンターパート受入れを行った。	調査団派遣 専門家派遣 長期 7名 短期 4名 機材 (千円) 当初計画 課題分 (1,840) 新規分 (52,341) 研修員受入 視察 3名 個別 0								←→ 11/24 12/8						巡回指導 3名 15日 団長 普及(2名) 農業技術、栽培、農業機械化、園芸、調整、土壤肥料 各1名 農具改良2名、印刷技術1名、農村経済1名 (4/20 ~ 視察堂教授、農村青少年教育、栽培各1名) 専門家派遣状況 (短、長期)				
				継 続 (A)				新 規 (B)				帰 国 (C)				現在在任者数 (A)+(B)-(C)			
人 数				4				11				6				9			
〔バングラデシュ〕 園芸研究 ① 協力期間 52.11.3 ~ 55.11.2 (R/D) ② 予算費目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 農林省 ④ 協力概要 (第5年次) 園芸研究センター及び3サブセンターでの11カ年改良のための基礎研究及び園場適応試験(1) 野菜種子増殖のための基礎研究及び園場適応試験(2) 関係機関農場に対する巡回指導に対する協力、54年度は巡回指導派遣、専門家派遣、機材供与、カウンターパート受入れを行う。	調査団派遣 専門家派遣 長期 4名 短期 1名 機材 (千円) 当初計画 課題分 (3,270) 新規分 (31,456) 研修員受入 高級(準高級)2名 一般 6名 (円4名13,531から継続)								←→ 12/15 12/24						巡回指導 3名、15日間 (インドネシア農圃へ合同) 団長、果樹、野菜調整員 4名 果樹(病害虫)1名 3/20 専門家派遣状況 (短、長期)				
				継 続 (A)				新 規 (B)				帰 国 (C)				現在在任者数 (A)+(B)-(C)			
人 数				4				1				0				5			
				3/30 4/12				3/13				12/12 8で相模、病殿 野菜 2名 相模 2名							

△ 実施協議 ○ 贈送請求 ◦ 給付 × 現地産着

(森林業協力事業 - 続き)

〔国名〕 プロジェクト名称等	協力内容	実績												分野																	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3																		
〔ビルマ〕 プロジェクト名称等 畜産開発 ① 協力期間 53.4.12 ~ 57.4.11 ② 予算費目 森林業協力費 ③ 相手国受入機関 畜産公社 ④ 協力概要 (第2年度) 畜産経営にかかるラングーン、ノイマイルの伐採場、養鶏場、飼料工場及び新設する研修所の訓練指導への協力 54年度上半期は短期専門家の派遣、機材供与と行った。	調査団派遣 専門家派遣 長期 4名 短期 4名 機材 (千円) 当初計画 繰越分 (6,040) 新規分 (32,054) 研修員受入 0名																														
〔ビルマ〕 アラカン森林開発 ① 協力期間 52.12.2 ~ 57.3.31 ② 予算費目 森林業協力費 ③ 相手国受入機関 木成公社 ④ 協力概要 (第2年度) アラカン山系の森林開発に資するため山廻林における伐出技術体系の確立を目的として(1)山廻林開発技術協力センター(2)パイロット伐出センターと設立し、業技及び機材管理技術等の開発、改良及び教育訓練への協力。	調査団派遣 専門家派遣 長期 7名 短期 2名 機材 (千円) 当初計画 繰越分 (14,390) 新規分 (128,000) 研修員受入 一般 4名																														
〔備考〕 1 11/29 ~ 12/10 2 11/28 3 11/28 4 10/3 5 12/19 6 12/10 7 1/30 8 11/14 9 11/14 10 11/14 11 11/14 12 11/14 13 11/14 14 11/14 15 11/14 16 11/14 17 11/14 18 11/14 19 11/14 20 11/14 21 11/14 22 11/14																															
巡回指導チーム (1/29 ~ 2/10) チームリーダー(機材)、養豚、飼料、採食、業務調整、養豚(2)、養鶏、雑穀、給水施設設置 専門家派遣状況 (短、長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在々在者数(A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>3</td> </tr> </table> (~4/16) (3/23 ~ 57.3/22)機材 (輸送5/2)																							継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在々在者数(A)+(B)-(C)	人数	4	5	6	3
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在々在者数(A)+(B)-(C)																											
人数	4	5	6	3																											
巡回指導 畜産顧問、業務調整、伐採輸出、伐出計画、採食業技(2)採食、機材、林学土木、熟練機材技 専門家派遣状況 (短、長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在々在者数(A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>6</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>7</td> </tr> </table>																							継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在々在者数(A)+(B)-(C)	人数	6	3	2	7
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在々在者数(A)+(B)-(C)																											
人数	6	3	2	7																											

(農林業協力事業一説)

〔国名〕 プロジェクト名称等	協力内容	実 績												分 野 等										
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3											
<p>〔インドネシア〕</p> <p>作物保護</p> <p>① 協力期間</p> <p>② 予算費目 農林業協力費</p> <p>③ 相手国受入機関 農業省農作物生産総局</p> <p>④ 協力概要 稲病虫害防除のための発生予測と、その防 疫指導体制強化のため、西シマツ州とモデル として実施することとする。シヤテサリ、ホ ゴールに於て、実験研究の指導を行い、シヤ カルタにおいて根菜管理の指導を行う。 54年度は、協力の基本計画作成のために 長期調査員3名の派遣を行った。</p>	<p>調査団派遣</p> <p>専門家派遣 長期 調査員3名</p> <p>研修員受入 高級(準高級) 一級</p>													<p>病理、昆虫、展覧</p> <p>専門家派遣状況(短、長期)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在々任者数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人 数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在々任者数 (A)+(B)-(C)	人 数	0	0	0	0
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在々任者数 (A)+(B)-(C)																				
人 数	0	0	0	0																				
<p>〔インドネシア〕</p> <p>農業研究</p> <p>① 協力期間</p> <p>① 45.10.23~53.10.22(協定)</p> <p>② 53.10.23~58.10.22(R/D)</p> <p>② 予算費目 農林業協力費</p> <p>③ 相手国受入機関 農業省</p> <p>④ 協力概要(第8年度)</p> <p>同国ボゴール市にあるインドネシア中央農業研 究所において、作付体系を構成する豆類及び 他の食用作物(米、トウモロコシ、根菜作物) に関する育種、栽培、水管理、雑草防除等に 対する協力、54年度は巡回指導の派遣、専 門家派遣、機材供与、カウンターパート受入 を行った。</p>	<p>調査団派遣</p> <p>専門家派遣 長期 7名 短期 5名</p> <p>研修員受入 視察 2名 一級 5名</p>								<p>巡回指導 4名 15日(バンクラテシユ農業研究と合同)</p> <p>リ-ター 1名、昆虫1名、植物病理1名、畑作栽培1名、植物生理1名、 水灌栽培1名、調整員1名、計7名、但、松実リ-ター(1954年4月1日帰国 機材供与 2名(55.2.21~3.17) 植物病理(藤井洋)植物生理(馬場 勉) 2名(55.3.8~3.15) 植物病理(西山幸司) 1名(55.2.27~55.5.26)</p> <p>専門家派遣状況(短、長期)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在々任者数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人 数</td> <td>6</td> <td>6</td> <td>5</td> <td>7</td> </tr> </tbody> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在々任者数 (A)+(B)-(C)	人 数	6	6	5	7					
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在々任者数 (A)+(B)-(C)																				
人 数	6	6	5	7																				

(農林業協力事業—続き)

〔国名〕 プロジェクト名称等	協力内容	実績												分野等										
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3											
〔インドネシア〕 ランポン農業開発 ① 協力期間(延長) ① 47.11.14 ~ 52.11.13 (協定) ② 52.11.14 ~ 55.11.13 () ② 予算費目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 農業省農作物総局 ④ 協力概要(第2年次) 農業普及センターでの改良農業技術の訓練普及の訓練、現地調査、助言等を行い、また中部ランポンの普及農場で改良稲作技術の演習及び普及、中部、南部ランポン州での改良稲作、栽培技術の演習及び普及活動に対する協力、54年度はフレエパチムの派遣、専門家派遣、機材供与、カウンターパート受入を行った。	調査団派遣									11/19				フレエパリエーション 3名×15日 リーダー1名、業務調整1名、農業普及1名、普及計画1名、農業機械1名、栽培1名、病害管理1名 土壌肥料1名(短期) 専門家派遣状況(短、長期) <table border="1"> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在々在者数(A)+(B)-(C)</th> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>7</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>7</td> </tr> </table> 農業普及2名、農業普及1名 病害管理1名、稲栽培、稲作機械化各1名、2/28から10ヵ月 農業普及(1-ファーマー)2名、写真技術1名(2/21~4/26)		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在々在者数(A)+(B)-(C)	人数	7	1	1	7
		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在々在者数(A)+(B)-(C)																			
	人数	7	1	1	7																			
	専門家派遣															<table border="1"> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在々在者数(A)+(B)-(C)</th> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>7</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>7</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在々在者数(A)+(B)-(C)	人数	7	1
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在々在者数(A)+(B)-(C)																				
人数	7	1	1	7																				
機材(千円) 当初計画 繰越分(33,632) 新規分(63,150)														<table border="1"> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在々在者数(A)+(B)-(C)</th> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>7</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>7</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在々在者数(A)+(B)-(C)	人数	7	1	1	7
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在々在者数(A)+(B)-(C)																				
人数	7	1	1	7																				
研修員受入 前級 2名 一般 7名														農業普及 病害管理 稲栽培 写真技術										
〔インドネシア〕 養蚕開発 ① 協力期間 51.2.20 ~ 53.2.28 (R/D) 53.2.28 ~ 58.2.27 (協定) ② 予算費目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 農業省林業総局 ④ 協力概要(第3年次) 養蚕センター及びサブセンターを設け、標準的養蚕技術の確立並びに技術者の指導、訓練に協力する。 54年度は、巡回指導の派遣、専門家派遣、機材供与、カウンターパート受入を行った。	調査団派遣													巡回指導(タイ養蚕と同時) リーダー1名、技術1名、蚕飼育1名、蚕種製造1名、病害管理1名 調整1名、6分野6名 冷凍座結付2名、給水施設1名、開戸係2名 専門家派遣状況(短、長期) <table border="1"> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在々在者数(A)+(B)-(C)</th> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> </table> 2名		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在々在者数(A)+(B)-(C)	人数	7	4	5	6
		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在々在者数(A)+(B)-(C)																			
	人数	7	4	5	6																			
	専門家派遣															<table border="1"> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在々在者数(A)+(B)-(C)</th> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在々在者数(A)+(B)-(C)	人数	7	4
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在々在者数(A)+(B)-(C)																				
人数	7	4	5	6																				
機材(千円) 当初計画 繰越分(8,120) 新規分(112,885)														<table border="1"> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在々在者数(A)+(B)-(C)</th> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>6</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在々在者数(A)+(B)-(C)	人数	7	4	5	6
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在々在者数(A)+(B)-(C)																				
人数	7	4	5	6																				
研修員受入 前級(準前級)2名 一般 0名														巡回指導 専門家派遣										

(農林業協働事業 - 続き)

〔国名〕 プロジェクト名称等	協力内容	実 績												分 野 等														
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3															
〔インドネシア〕 前スラウエシ州地域農業開発 ① 協力期間 5/12, 25 ~ 5/26, 24 (R/D) 5/26, 24 ~ 5/26, 23 (R/D) ② 予算費目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 農業省官庁課長 ④ 協力概要 (第3年次) 前スラウエシ州地域農業に関する調査及び分析、同地域農業開発基本計画の策定及び勧告、カヌキフ、草刈改良及び林地の改良のためのパイロットテストの実施を行う。これらのフィジビリティスタディを行う。 5/24年度は実施設計チーム、専門家派遣、機材供与・カウンターパート受入れを行った。	調査用派遣 専門家派遣 長期 10名 短期 1名 機材 (千円) 当初計画 繰越分 (810) 新規分 (58,298) 研修員受入 一般 1名				← 7/8	→ 7/5												実施設計 アドバイザー1名、チームリーダー1名、カヌキフ、草刈改良、林地改良各1名、業務調整1名 施工調整1名 専門家派遣状況 (短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在々任者数(A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>5</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>7</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在々任者数(A)+(B)-(C)	人数	5	6	4	7
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在々任者数(A)+(B)-(C)																								
人数	5	6	4	7																								
〔インドネシア〕 ボゴール農科大学農産加工 ① 協力期間 5/2, 10, 14 ~ 5/2, 10, 13 (R/D) ② 予算費目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 教育文化省 ボゴール農科大学 ④ 協力概要 (第3年次) 同大学農業工学、農産加工学部にて農産加工パイロット、プラントを設置し、教授、学生、技術者の教職員等の農産加工の分野における技術の向上への協力。5/24年度は、巡回指導の派遣、専門家派遣、機材供与、研修員受入れを行った。	調査用派遣 専門家派遣 長期 4名 短期 5名 機材 (千円) 当初計画 繰越分 (0) 新規分 (83,000) 研修員受入 一般 5名					←												巡回指導 (7/11 ~ 9/15) 計3名 / 5日 リーダー1名、パイロットプラント運営1名、食品分析1名、品質管理1名、調整1名、流通加工1名、豆腐1名、ボイラー1名、醸造食品1名、農産流通1名 専門家派遣状況 (短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在々任者数(A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>3</td> <td>6</td> <td>2</td> <td>7</td> </tr> </table> 農産製造1名、食用油製造1名、醸造食品1名、実験工学1名、殺菌、低温加工1名、		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在々任者数(A)+(B)-(C)	人数	3	6	2	7
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在々任者数(A)+(B)-(C)																								
人数	3	6	2	7																								

(環境協力事業一統)

【国名】 プロジェクト名称等	協力内容	年度												分野等												
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3													
<p>【インドネシア】 家畜衛生</p> <p>① 協力期間 52.7.7 ~ 55.7.6 (R/D)</p> <p>② 予算費目 農林業協力費</p> <p>③ 相手国受入機関 農業省畜産総局</p> <p>④ 協力概要 (第3年次) スマトラ島、メダン及びタンジエンカラ ンに家畜衛生センターを設立し北南スマトラ地 区の地域病の調査、診断、これらに関する試験 研究技術者の訓練、ワクチンの試作等につい ての協力。54年度12月には、短期専門家 の派遣した。</p>	<p>調査団派遣</p> <p>専門家派遣 長期 6名 短期 4名</p> <p>機材 (千円) 当初計画 繰越分 (13,244) 新規分 (33,300)</p> <p>研修員受入 高級 (準高級) 2名 一般 3名</p>															<p>エバリュエーションチーム 2/27 ~ 3/16</p> <p>寄生虫学1名、微生物学1名、疫学1名 リーダー(微生物)1名、微生物学1名、疫学1名 (メダン畜産衛生センター 4名、 タンジエンカラ畜産衛生センター 2名)</p> <p>短期、臨床生化学 12/8~2/5、アトバイブ 2/15~10/14 病理 3/3~6/2、狂犬病 3/12~5/11</p> <p>専門家派遣状況 (短・長期)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在々任者数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>5</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>研修 2名 寄生虫学(1)、疫学(1)、病理学(1)</p>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在々任者数 (A)+(B)-(C)	人数	6	4	5	5
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在々任者数 (A)+(B)-(C)																				
人数	6	4	5	5																						
<p>【インドネシア】 ジャワ山岳林収獲技術</p> <p>① 協力期間 53.4.20 ~ 54.4.19</p> <p>② 予算費目 農林業協力費</p> <p>③ 相手国受入機関 森林公社</p> <p>④ 協力概要 (第2年次) ジャワ島中部の山岳林の開発に資するため 伐木業技術の開発、訓練に協力する。54 年度は、巡回指導チームの派遣、専門家派遣 機材供与、カウンターパート受入れを行った。</p>	<p>調査団派遣</p> <p>専門家派遣 長期 7名 短期 1名</p> <p>機材 (千円) 当初計画 繰越分 (0) 新規分 (106,604)</p> <p>研修員受入 高級 (準高級) 2名 一般 3名</p>															<p>巡回指導 機材)</p> <p>チームリーダー、伐木業技、業務調整、伐木業技、架線業技(2)、 トラクター乗技、林業機技(2)</p> <p>林業機技</p> <p>専門家派遣状況 (短・長期)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在々任者数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>8</td> <td>2 (短期1名)</td> <td>0</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在々任者数 (A)+(B)-(C)	人数	8	2 (短期1名)	0	10
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在々任者数 (A)+(B)-(C)																						
人数	8	2 (短期1名)	0	10																						

(農林業協力事業一続き)

〔国名〕 プロジェクト名称等	協力内容	実 績												分 野 符											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3												
〔インドネシア〕 所スマトラ森林造成 ① 協力期間 54.4.12 ~ 58.4.11 (R/D) ② 予算項目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 農林業総局 ④ 協力概要(第1年次) 森林造成の計画的作業、機械化作業等につ いての技術の調査訓練への協力。54年度は 事前調査及び実施設計チームの派遣、専門家 の派遣、機械の供与を行った。	調査用派遣 専門家派遣 長期 4名 短期 2名 機 械 (千円) 当初計画 繰越分 (0) 新規分 (10,000) 研修員受入 0													事前調査 4/2 ~ 4/18 (53年度予算) 実施設計 7/11 ~ 10/14 (54年度予算) 首席顧問、チームリーダー、森林保護 業務調査 林造、苗畑。 専門家派遣状況(短・長期)											
															<table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在々任者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人 数</td> <td></td> <td>長期 4 短期 2</td> <td></td> <td>6</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在々任者数 (A)+(B)-(C)	人 数		長期 4 短期 2		6
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在々任者数 (A)+(B)-(C)																			
		人 数		長期 4 短期 2		6																			
〔インドネシア〕 茂海養殖 ① 協力期間 53.8.30 ~ 57.3.31 (R/D) ② 予算項目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 農林研究開発庁 ④ 協力概要(第2年次) ジャカルタ近郊バンテン湾において魚貝類 養殖技術を確立する。	調査用派遣 専門家派遣 長期 4名 短期 1名 機 械 (千円) 当初計画 繰越分 (40,271) 新規分 (35,421) 研修員受入 高級(準高級)1名 一般													巡回指導 (2名×4日、1名×1ヶ月) リーダー 魚類養殖 貝類養殖 養殖地造成 専門家派遣状況(短・長期)											
															<table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在々任者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人 数</td> <td>2</td> <td>3</td> <td>0</td> <td>5</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在々任者数 (A)+(B)-(C)	人 数	2	3	0	5
			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在々任者数 (A)+(B)-(C)																			
		人 数	2	3	0	5																			

(農林業協力事業 - 続き)

【国名】 プロジェクト名 名称	協 力 内 容	実 績												分 野 等									
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3										
【インドネシア】 プロジェクト名 名称 中堅技術者研修 ① 協 力 期 間 54.3.29 ~ 57.3.28 (R/D) ② 予 算 費 目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 農業省農業教育訓練普及庁 ④ 協 力 概 要 (第1年次) 農業普及員の養成訓練を目的とし、研修、指導及び地域訓練センターを強化、拡充するための協力。 54年度は専門家派遣、研修員受入、巡回指導チームの派遣を行った。	調査団派遣 5名 17日間													巡回指導 4名 15日間 ←→ 研修員 2名	専 門 家 派 遣 状 況 (短、長期)								
	専門家派遣 長期 5名 短期 0													局長1名、栽培2名、調整1名、農業機械1名									
	機 材 (千円) 当初計画 繰越分 (0) 新規分 (52,000)																						
	研修員受入 視 察 2名 個 別 2名																						
【インドネシア】 リモートセンシング技術開発 ① 協 力 期 間 ② 予 算 費 目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 公共事業省 ④ 協 力 概 要 (第1年次) リモートセンシング技術を利用して、インドネシア国のスラウエン、カリマンタン、スマトラにおける農業資源の調査を行い、土地分類、土地利用状況、開発進捗の分析を行う。	調査団派遣 6名 17日間													実地協議 6名 1/30 ~ 2/18 (19日間)									
	専門家派遣 長期 0 短期 0													専 門 家 派 遣 状 況 (短、長期)									
	機 材 (千円) 当初計画 繰越分 (0) 新規分 ()																						
	研修員受入 高級 (準高級) 一 般																						
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>経 費 (A)</th> <th>新 規 (B)</th> <th>帰 国 (C)</th> <th>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人 数</td> <td>0</td> <td>5</td> <td>0</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table>													経 費 (A)	新 規 (B)	帰 国 (C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人 数	0	5	0	5
	経 費 (A)	新 規 (B)	帰 国 (C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																			
人 数	0	5	0	5																			
		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>経 費 (A)</th> <th>新 規 (B)</th> <th>帰 国 (C)</th> <th>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人 数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>													経 費 (A)	新 規 (B)	帰 国 (C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人 数	0	0	0	0
	経 費 (A)	新 規 (B)	帰 国 (C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																			
人 数	0	0	0	0																			

(農林業協力事業一統表)

[国名] プロジェクト名称等	協力内容	実 績												分 野 等										
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3											
<p>[大韓民国] 農業研究</p> <p>① 協力期間 42.6.7~54.6.6 (協定) 54.6.7~57.3.31 (R/D)</p> <p>② 予算項目 農林業協力費</p> <p>③ 相手国受入機関 農水産部、農村振興庁</p> <p>④ 協力概要 (第4年次) 食糧増産及び農民の所得向上を図るための水稲、普通作物及び野菜の研究に於ける協力 54年度は、計画打合せチームの派遣、専門家派遣、機材供与及びカウンターパートの受入れを行った。</p>	<p>調査用派遣</p> <p>専門家派遣 長期 1名 短期 8名</p> <p>機材 (千円) 当初計画 繰越分 (0) 新規分 (27,508)</p> <p>研修員受入 高級 (準高級) 2名 一般 4名</p>													<p>計画打合せチーム (8日間×4人)</p> <p>リーダー1名 (12/10より後任派遣)</p> <p>機械化班組1名、養殖生理生態1名、水稲品種育成1名、養蚕班組1名、水稲冷害生理1名、施設園芸1名、ウイルス病1名、作物栄養生理1名</p> <p>専門家派遣状況 (短、長期)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>1</td> <td>9</td> <td>9</td> <td>1</td> </tr> </table> <p>高級1名、準高級1名 施設園芸1名、養蚕班組1名、ウイルス病1名、水稲機材移植1名</p>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人数	1	9	9	1
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																				
人数	1	9	9	1																				
<p>[マレーシア] 水管理訓練計画</p> <p>① 協力期間 52.9.3~57.9.2 (R/D)</p> <p>② 予算項目 農林業協力費</p> <p>③ 相手国受入機関 農業増排水灌漑局</p> <p>④ 協力概要 (第3年次) ケランタン州コクバル市に水管理訓練センターを設置し、技術者を養成する。センター所属のデモンストレーションファーム/カサ (4.5ha) 及び周辺に4カ所 (各2.0ha) のパイロットファームを作りカサ農業の現示に協力する。54年度は専門家派遣、機材供与、研修員受入及び巡回指導チーム派遣を行った。</p>	<p>調査用派遣</p> <p>専門家派遣 長期 5名 短期 2名</p> <p>機材 (千円) 実 績 繰越分 (6,588) 新規分 (28,451)</p> <p>研修員受入 一般 3名</p>												<p>巡回指導 (タイカスガヒと合同) → 5名</p> <p>長期 ① リーダー (11) ② 稲栽培 (11) ③ カサガイ (11) ④ 水管理 (11) ⑤ 業務調整 (11)</p> <p>短期 11/1 施工管理 (11) ポンプ機付 (11)</p> <p>専門家派遣状況 (短、長期)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>5</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>4</td> </tr> </table> <p>視察 (2) 農地水資源開発 (11)</p>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人数	5	1	2	4	
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																				
人数	5	1	2	4																				

(農林業協力の事業一続き)

【開 名】 プロジェクト名称等	協 力 内 容	実 績												分 野 評 価																
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3																	
(ネパール) ジャナカプール農業開発 ① 協力期間 48.11.26~49.11.6 (R/D) 49.11.7~54.11.6 (協定) 54.11.7~57.11.6 (R/D) ② 予算項目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 食糧産米省 ④ 協力概要(第8年次) 農民の所得増加と、生活水準向上を目的とし、(1)ハルティータ普及農場(42ha)での改良農業技術の導入、演示及び普及(2)プロジェクトセンターの設置、運営(3)深クアムカハ地区(420ha)での基礎整備と米の農業の普及、(4)山間部地区での展示農場の設置運営と巡回指導及び屠産計画の策定への協力(5)深クアムカハ地区(9ライ)へのかんがい農業の普及。54年度はエバリエーションチームの派遣、専門家派遣、機材供与を行った。	調査用派遣			←→ 6/20	→ 7/9				←→ 9/14	→ 9/14							① エバリエーション ② エバリエーション(R/Dサイン)													
	専門家派遣 16名 長期 12名 短期 4名																	シニアアドバイザー、プロジェクトリーダー、園芸、蔬菜業務調査、農業機械、農場経営、栽培、かんがい2名 山間開発4名。												
	機材(千円) 繰越分(31,772) 新規分(23,385)																	専門家派遣状況(短、長期)												
	研修員受入 高級(準高級)1名 一般 2名																	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在任者数(A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人 数</td> <td>12</td> <td>4</td> <td>10</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>					継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)	人 数	12	4	10
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)																										
人 数	12	4	10	6																										
(フィリピン) カガヤン農業開発 ① 協力期間 51.2.27~54.2.21 (R/D) 54.2.22~57.2.21 (11/A) ② 予算項目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 農業省 ④ 協力概要(第4年次) カガヤン地域の基礎整備によってもたらされる雨の二期作と農業の生産性向上を通じ農業の近代化に貢献する。54年度は専門家派遣、研修員の受入れ及び巡回指導の派遣、機材の現地調達を行った。	調査用派遣																巡回指導(4名) 4/9 4/23													
	専門家派遣 長期 6名 短期 4名																	① リーダー ② 栽培 ③ 普及 ④ かんがい ⑤ 業務調整 ⑥ 農業機械 ⑦ 機材供与 ⑧ 木文、土壤 2人												
	機材(千円) 当初計画 繰越分(5,110) 新規分(48,000)																	専門家派遣状況(短、長期)												
	研修員受入 高級(準高級) 一般 (1名)																	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在任者数(A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人 数</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table>					継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)	人 数	6	4	4
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)																										
人 数	6	4	4	6																										

(森林業協力事業 - 続き)

〔国名〕 プロジェクト名称等	協力内容	実 績												分野等
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
<p>〔フィリピン〕 バンタバンガン森林造成</p> <p>① 協力期間 51.6.18～53.9. (R/D) 以後5ヶ年間の協定による協力予定</p> <p>② 予算費目 森林業協力費</p> <p>③ 相手国受入機関 林業開発庁</p> <p>④ 協力概要 (第4年次) バンタバンガン地域は比国の重要な水源地帯であり、ここに存する約5千haの草原状無立木地帯における森林造成事業に協力し、流域保全と木材生産の調和した林業経営のための技術移転をほかり木材資源の保存に資するものである。なお、55年9月迄の協定化により無償資金協力による森林保全研修センタープロジェクトも開始される予定</p>	<p>調査団派遣</p> <p>専門家派遣 長期 8名 短期 5名</p> <p>機材 (千円) 当初計画 繰越分 (2,160) 新規分 (82,494)</p> <p>研修員受入 一般 2名</p>	<p>←→</p> <p>←→</p> <p>→</p> <p>○ ○</p> <p>○ ○</p> <p>○ ○</p>	<p>巡回指導調査及び機材維持管理チーム</p> <p>(長期) F-アドバイザー 1名、森林経営 1名、造林 2名、経営計画 1名、治山 2名、業務調整 1名</p> <p>(短期) 試験設計 1名、土壌 1名、橋梁設計 1名、森林機械 1名、施工管理 1名</p> <p>専門家派遣状況 (短、長期)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在在任者数(A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>7</td> <td>8</td> <td>5</td> <td>10</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)	人数	7	8	5	10	
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)										
人数	7	8	5	10										
<p>〔スリランカ〕 高等水産講習所</p> <p>① 協定期間(延長) 49.4.16～53.4.15 (53.4.16～55.4.15)延長 55.4.16～56.4.15 プロ-777</p> <p>② 予算費目 技術協力センター費</p> <p>③ 相手国受入機関 漁業省</p> <p>④ 協力概要 (第5年次) 本講習所は沖合漁洋漁業を目的とした短期大学程度講習所であり漁業科、機関科から成る。 54年度は機材修理チーム、エブリエーションチーム派遣、専門家派遣、機材供与、カウンターパート受入れを実施した。</p>	<p>調査団派遣</p> <p>専門家派遣 長期 8名 短期 0名</p> <p>機材 (千円) 繰越分 (13,900) 新規分 (31,500)</p> <p>研修員受入 一般 2名</p>	<p>○ ○</p> <p>○ ○</p> <p>○ ○</p> <p>○ ○</p>	<p>エブリエーション</p> <p>機材修理</p> <p>育苗顧問</p> <p>業務調整、漁撈機、機具、機材、航海、漁法</p> <p>専門家派遣状況 (短、長期)</p> <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在在任者数(A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>7</td> <td>1</td> <td>0</td> <td>8</td> </tr> </table> <p>8ヶ月</p>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)	人数	7	1	0	8	
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)										
人数	7	1	0	8										

(農林業協力の概要一説)

〔国名〕 プロジェクト名称等	協力の内容	実績												分野等	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
〔タイ〕 沿岸養殖 ①協定期間 ②予算項目 農林業協力費 ③相手国受入機関 農業協同組合 ④協力概要(第1年次) タイ国の第4次国家経済社会開発計画において重要視されている沿岸養殖開発計画に対する協力の可能性を調査するため、昭和54年度において事前調査を実施した。	調査団派遣 専門家派遣 長期 0 短期 0 機材(千円) 0 当初計画 繰越分() 新規分() 研修員受入 高級 1名														事前調査 専門家派遣状況(短・長期) 継続(A) 新規(B) 帰国(C) 現在在任者数(A)+(B)-(C) 人数 0 0 0 0
〔タイ〕 国立雑草科学研究所 ①協定期間 ②予算項目 農林業協力費 ③相手国受入機関 農業、協同組合 ④協力概要(第1年次) 雑草コントロールの基礎的研究と実践的指導を各試験場及び農家で実施する。54年度は、長期調査員派遣を行い、研究技術協力と関係者養成協力の具体化を図るとともに、R/D 締結のための実施協議チームの派遣を行った。	調査団派遣 実施協議チーム 専門家派遣 長期調査員/名 短期 0 機材(千円) 当初計画 繰越分(0) 新規分(0) 研修員受入 高級(準高級) 0 一般 0														(4/7) (4/23) 4月15日 1/16 ← 2/17 専門家派遣状況(短・長期) 継続(A) 新規(B) 帰国(C) 現在在任者数(A)+(B)-(C) 人数 0 0 0 0

(農業水産業協力事業一続き)

〔国名〕 プロジェクト名称等	協力内容	実 績												分 野 等				
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
〔タ イ〕 カンガイ農業開発 ① 協力期間 52.4.8 ~ 57.4.7 (R/D) ② 予算費目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 農業・協同組合省 ④ 協力概要 (第3年次) タイの米生産の増大及び二期作地域の拡大に貢献することを目標にチャイピア及びメクロン地区において圃場整備の促進、農業生産技術の改良及び普及並びに農民組織の普及強化への協力、54年度は巡回指導の旅遣、専門家派遣、機材供与、カウンターパート受入を行った。	調査団派遣								←					巡回指導 (マレーシア水管理と合同)				
	専門家派遣 長期 12名 短期 3名									←					(センター) (チャイピア) リーダー、カンガイ排水、調整、カンガイ排水、圃場整備 1名、1名、1名、1名 (チャイピア) 栽培1名、農業機械1名、(メクロン)カンガイ排水、圃場整備、教育各1名 (スハンブリ)栽培2名 巡回管理 3名			
	機材 (千円) 当初計画 繰越分 (0) 新規分 (232,400)														専門家派遣状況 (短、長期) 継続(A) 新規(B) 帰国(C) 現在在任者数 (A)+(B)-(C)			
	研修員受入 高級 (準高級) 2名														人数 10 4 2 12 ← 視察 2名 カンガイ農業 2名			
〔タ イ〕 家畜衛生 ① 協力期間 52.3.2 ~ 57.3.1 ② 予算費目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 農業協同組合省畜産振興局 ④ 協力概要 (第3年次) 家畜衛生関係の改善をはかるため、(1)畜産振興局に対する家畜衛生企画協力、(2)家畜衛生センターを中心とする家畜疾病の診断、調査、防疫、(3)口蹄疫ワクチン大産製造技術の確立と口蹄疫の診断への協力、54年度はアドバイザー2名及びエバリエーションチーム派遣、機材供与、カウンターパート受入を行った。	調査団派遣													エバリエーションチーム (11/14 ~ 11/28) 巡回指導チーム (機材供与 1/8 ~ 3/1)				
	専門家派遣 長期 8名 短期 7名														(口蹄疫ワクチン製造 2、ワクチン検定 1、寄生虫 1、微生物 1) (病型 1、疫学 1、施設 1) (アドバイザー 2名、うち1名は/月上旬派遣、ワクチン製造 2) (実験動物 1、ウイルス 1、機材修理 1)			
	機材 (千円) 当初計画 繰越分 (7072) 新規分 (35,000)														専門家派遣状況 (短、長期) 継続(A) 新規(B) 帰国(C) 現在在任者数 (A)+(B)-(C)			
	研修員受入 高級 (準高級) 3名 一般 3名														人数 7 6 8 5 ← (準高級1名、高級1名及び準高級1名は3月受入) (病型1、寄生虫1、ブルセラ病1)			

(農林水産業協力事業一覽表)

【国名】 プロジェクト名称等	協力内容	実 績												分 野 等
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
【タイ】 養蚕開発 ① 協力期間 ① 44.3.7~53.3.6 (R/D) ② 53.3.7~55.3.6 (244-777) ② 予算費目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 農業協同組合省 養蚕局 ④ 協力概要 (第10年次) 養蚕技術の開発、原蚕種の製造技術者の教育訓練等を行う為、タイ国内にコナト養蚕訓練センターを設置する。併せて同センターで開発された養蚕種の増殖、農民の教育訓練を4カ国において行うとともに6~10カ所のパイロット養蚕農家群を設け末端農民まで養蚕技術を普及する協力。 54年度は専門家派遣、機械供与カウンターパート受入れを行った。	調査団派遣 専門家派遣 長期 4名 短期 3名 機材(千円) 当初計画 繰越分 (0) 新規分 (12,898) 研修員受入 高級(準高級) 0 一般 4名	7/26 ←→ 10/16 3/12 ←→ 3/17 3/30 7/27 12/26 7/26 7/27	巡回指導 (インドネシア養蚕合同) 機械修理チーム (インドネシア養蚕合同) リーダー1名、養蚕製造1名、担糸1名、病腫1名 計4名 教師務3人つけ2名 病腫1名 専門家派遣状況 (短、長期) 現在在任者数 (A)+(B)-(C) 人数 4 3 7 0 養蚕製造2名 (4/8, 10/9 月 JETRO) 製糸2名											
【タイ】 どうもろこし産業開発 ① 協力期間 52.9.17 ~ 57.9.16 ② 予算費目 産業開発協力費 ③ 相手国受入機関 農業協同組合省 組合総連局 ④ 協力概要 (第3年次) 栽培に関する応用試験、種子生産調整、機械化訓練、農協管理研修等の業務を通じ農協育成強化を行い、タイどうもろこしの生産性向上を図る協力。54年度は巡回指導チーム派遣及び機械供与、カウンターパート受入と共に協力延長(3カ年)のための手続を終了した。	調査団派遣 専門家派遣 長期 5名 短期 7名 機材(千円) 当初計画 繰越分 (0) 新規分 (61903) 研修員受入 高級(準高級) 2名 一般 1名	←→ ←→ ←→ ←→ ←→ ←→ ←→ ←→	巡回指導 (R/D延長の署名) (リーダー、栽培、農業機械、保種、調整) (種子プラント5名、うち2名は54.11/3. 11/7 派遣、試運転1名、農協2名) 専門家派遣状況 (短、長期) 現在在任者数 (A)+(B)-(C) 人数 5 7 6 6 (準高級2名) (農業機械1名、6ヶ月)											

(農林水産業協力の甲斐—続き)

〔題名〕 プロジェクト名称等	協力の内容	実 績												分 野 等										
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3											
(タ イ) カセサート大学 ① 協力の期間 ② 予算費目 農林業協力の質 ③ 相手国受入機関 カセサート大学 ④ 協力の概要 カンバンセンキャンパスの施設整備、拡大計画のため、53、54年度無償により建設中の総合研究センター、農業普及センターおよび研修員センターに対し、総合的な技術協力をを行う。	調査団派遣 専門家派遣 長期 調査員/名 研修員受入 高級(準高級) 2名													← 実施協議チーム 5名 12日 (3/31~4/11) (6/8~12/7) 専門家派遣状況(長期調査員) <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>経費(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>継続(C)</th> <th>現在在任者数(A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table> 視察 2名 2週間(高級/名、準高級/名)		経費(A)	新規(B)	継続(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)	人数	0	1	1	0
	経費(A)	新規(B)	継続(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)																				
人数	0	1	1	0																				
(アフガニスタン) 福作研究 ① 協力の期間 54.3.14~59.3.13(R/D) ② 予算費目 農林業協力の質 ③ 相手国受入機関 農業、土地改革省 ④ 協力の概要(要する文) 同国の食糧(特に米)増産等に資するため、ナンガヘル県に福作研究センターを設置し、実用試験の実施、普及員の訓練等を行うとともにパイロットファーマーを送定して技術指導等を行う。57年度はアフガニスタンの政府決定等のため、専門家派遣等協力の実施を見合わせている。	調査団派遣 専門家派遣 長期 0 短期 0 研修員受入 高級 1名 一般																							

(農林水産協力の概要 - 続き)

〔国名〕 プロジェクト名称等	協力の内容	年度													分野等									
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3											
<p>〈イラン〉 サボニル農業研究 ① 協力期間 53.3.13 ~ 55.3.12 (R/D) ② 予算費目 農林系協力の費 ③ 相手国受入機関 農業村落開発研究調整局 ④ 協力概要 (第1年度) シスタン・バルチスタン州の荒蕪地の農業開発と農業の近代化を図るため、同地域のかわる農業技術上の問題点と対策を検討するための、実用研究を主なテーマとするセンターを設置、これに対し当国20年の協力と行い、54年度は、イランの政情安定待ちのため以下専門家の派遣や協力の実施を見合わせている。</p>	<p>調査団派遣 専門家派遣 長期 0 短期 0 概数 (千円) 当初計画 繰越分 (0) 新規分 (0) 研修員受入 高級 一般</p>													<p>巡回指導 (3名 x 15日) は54年度に実施することとし、予算を繰越した。 専門家派遣状況 (短・長期)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人数				
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																				
人数																								
<p>〈チュニジア〉 国立漁業センター ① 協力期間 53.2.1 ~ 56.6.30 (R/D) ② 予算費目 技術協力センター費 ③ 相手国受入機関 農業省漁業局 ④ 協力概要 (第1年度) チュニジア国水産高等学校漁業科での他の教員の再教育訓練と漁業開発及び現在行われている沿岸漁業の改善指導と主たる目的とする。</p>	<p>調査団派遣 専門家派遣 8名 長期 6名 短期 2名 概数 (千円) 当初計画 繰越分 (12,530) 新規分 (76,000) 計 88,530 研修員受入 一般 1名</p>												<p>首席顧問、まぐろ定置、漁業一般、トータル漁業業務調整、まさ網 専門家派遣状況 (短・長期)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>2</td> <td>6</td> </tr> </tbody> </table> <p>(短2)</p> <p>11月 / 名</p>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人数	4	4	2	6	
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																				
人数	4	4	2	6																				

(農林水産業協力事業一統表)

〔国名〕 プロジェクト名称等	協力内容	実 績												分 野 等							
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3								
〔マダガスカル〕 北部畜産開発 ① 協力期間 52.12.11～55.11.10 (R/D) ② 予算費目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 地域開発農地改革省畜産局 ④ 協力概要 (第2年次) 同国北部のディエゴスワレス市近郊の指導所にて(1)家畜衛生の改善、(2)飼料作物の開発(3)家畜飼養の改善(4)技術者の訓練に対する協力を実施している。	調査員派遣														←	巡回指導員 4 (3/21～4/19)					
	専門員派遣 長期 4名 短期 0名															→	リダー(畜産) / 名 獣医 / 名、業務調整 / 名、飼料作物 / 名				
	機材(千円) 当初計画 繰越分(23860) 新規分(10000)																専門員派遣状況(短長期)				
	研修員受入 高級(準高級) / 名 一般 0																	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在正任者数 (A)+(B)-(C)
																	人数	4	0	0	4
																畜産局長 7/29 - 8/13					
〔タンザニア〕 キリマンジャロ農業開発 ① 協力期間 53.9.13～57.9.12 (R/D) ② 予算費目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 大蔵企画省 ④ 協力概要 (第2年次) キリマンジャロ州の農業開発のため、農業開発センターを設置しロア-モン地域農業開発のための基盤整備に対するアドバイス、普及サービス活動を行うとともに、農業技術サービスセンターにおいて農業技術の活用等を指導する。54年度は、機材供与及び施設改善調査員の派遣を行った。	調査員派遣														←						
	専門員派遣 0 長期 0 短期 0															→	実施設計 6人 50日				
	機材(千円) 当初計画 繰越分() 新規分(17000) (55年度へ繰越し)																専門員派遣状況(短長期)				
	研修員受入 高級(準高級) 0 一般																	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在正任者数 (A)+(B)-(C)
																	人数	0	0	0	0

(農林水産省協力事業—統計—)

〔国名〕 プロジェクト名称等	協力内容	次 試												分 野 等										
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3											
〔ブラジル〕 リベイラ川流域の農業開発 ① 協力期間 50.3.10～ 相見取締の締結まで ② 予算項目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 サンパウロ州農務局 ④ 協力概要 (第5年次) サンパウロ州リベイラ川流域の農業開発を推進するため、適作物の選定等実用試験と普及員の訓練並びにこれら開発された技術の普及等の機能と有する研究センターを設置し、これに協力する。54年度は、専門家派遣、機材供与及びカウンターパート受入れを行った。	調査団派遣													巡回指導 6名 相見取締の締結後計画打合せの目的あるいは同取締の協賛手一人の目的で派遣予算は53年度繰上りによる。 リーダー、テクニカルアドバイザー、計画調整員、栽培、農業経営、農業土木(2名) 専門家派遣状況 (短、長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>従 続 (A)</td> <td>新 規 (B)</td> <td>帰 国 (C)</td> <td>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人 数</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>7</td> </tr> </table>		従 続 (A)	新 規 (B)	帰 国 (C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人 数	7	4	4	7
		従 続 (A)	新 規 (B)	帰 国 (C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																			
	人 数	7	4	4	7																			
	専門家派遣 長期 7名 短期																							
機 材 (千円) 当初計画 繰越分 (0) 新規分 (38,941) 研修員受入 高級 2名 一般 2名																								
〔ブラジル〕 農業開発 ① 協力期間 52.9.30～57.9.29 相見取締 ② 予算項目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 農務省ブラジル農業試験研究公団 ④ 協力概要 (第2年次) セラト地域の農業開発に資するため同地域の農業生産システム確立上必要な試験研究に協力する。54年度は 専門家派遣、機材供与及びカウンターパート受入れ巡回指導手一人の派遣を行った。	調査団派遣													巡回指導 4名 25日 (ウルグアイ野菜と合同) (3/25～4/13) リーダー1名、植物病理1名、昆虫1名、作物栽培2名、工農作物水分1名、選給員1名 計7名 栽培1名、土壌1名、気象1名、機材操作1名 計4名 畑作 石塚潤樹 畑作 永月博 (55.2.5) (55.2.5) (55.2.5) (55.3.25) (～5.4) (～7.4) (～7.4) (～7.13) 専門家派遣状況 (短、長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>従 続 (A)</td> <td>新 規 (B)</td> <td>帰 国 (C)</td> <td>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人 数</td> <td>7</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>8</td> </tr> </table>		従 続 (A)	新 規 (B)	帰 国 (C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人 数	7	4	3	8
		従 続 (A)	新 規 (B)	帰 国 (C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																			
	人 数	7	4	3	8																			
	専門家派遣 長期 7名 短期 4名																							
機 材 (千円) 当初計画 繰越分 (1,230) 新規分 (98,000) 研修員受入 視察 2名 一般 3名																								

(森林水産業協力事業—続き—)

〔国名〕 プロジェクト名称等	協力内容	火 額												分 野 符		
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3			
〔ブラジル〕 杯米研究 ① 協力期間 58.4.1 ~ 59.3.31 (R/D) ② 予算費目 森林業協力費 ③ 相手国受入機関 サンパウロ州森林院 ④ 協力概要 (年/年次) サンパウロ州地域の流域保全に対する森林 造成及び管理技術開発に関する協力。54年 度は、専門家派遣、カウンターパート受入れ 及び実施協議チーム派遣を行った。	調査用派遣													←→	実施協議 リーダー及び流域管理 各1名 流域管理 (2) 専門家派遣状況 (短、長期)	
	専門家派遣 長期 2名 短期 2名															継続(A) 新規(B) 帰国(C) 現在在任者数(A)+(B)-(C)
	枝 杖 (千円) 当初計画 40,000 繰越分 (0) 新規分 (40,000)															人 数 0 4 2 2
	研修員受入 高級(準高級) / 名 一般 / 名															
〔チリ〕 水産養殖 ① 協力期間 54.10.2 ~ 58.10.1 (R/D) ② 予算費目 森林業協力費 ③ 相手国受入機関 経済開発、復興省漁業局 ④ 協力概要 (年/年次) 魚類資源に恵まれたチリのサケ、マス養殖 に対する協力を中心として沿岸水域における 有用魚類の増養殖の調査に協力する。 53年度においては上記に係る可能性を 調査するための事前調査チームを派遣し、54 年7月に実施協議チームを派遣した。	調査用派遣														実施協議チーム ざり養殖 (55年4月30日迄、専門家派遣費扱い) 及び、水質放流に係る環境調査 専門家派遣状況 (短、長期)	
	専門家派遣 長期 1名 長期調査員 1名 短期 0															継続(A) 新規(B) 帰国(C) 現在在任者数(A)+(B)-(C)
	枝 杖 (千円) 当初計画 繰越分 (0) 新規分 (0)															人 数 2 0 2
	研修員受入 高級(準高級) 一般															

(農林水産省地方事業一統表)

(国名) プロジェクト名称等	協力内容	実績												分野等	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
(パラグアイ) 農業開発計画 ① 協力期間 54.3.16 ~ 59.3.15 (R/D) ② 予算費目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 農牧省 ④ 協力概要 (第1年次) 地域農業の栽培体系及び機械化等農林業 の進歩を目的として、カピタン、ミラング 農業試験場を中心に農業機械、肥料、畜産 栽培技術及び植物病理等の指導訓練への協 力。54年度は専門家派遣、機械供与、研修 員受入及び実施設計チームの派遣を行った。	調査員派遣 専門家派遣 長期 3名 短期 0 機材(千円) 実績 36,600 繰越分 (0) 新規分 (36,600)									←	→			実施設計 6名 (うちコンサルタント2名) ① 栽培調整 ② CREAリーダー(農学) (7/18から派遣) ③ CREA(管理) (2/18から派遣)	
	研修員受入 高級 2名 一般 2名														専門家派遣状況 (短・長期) 継続(A) 新規(B) 帰国(C) 現在在任者数 (A)+(B)-(C) 人数 0 3 0 3
	2週間 1 year 1 year														機 器 (2) 大豆育種 (1) 土壌肥料 (1)
	1974 74														
(パラグアイ) 林業開発 ① 協力期間 54.3.16 ~ 59.3.15 (R/D) ② 予算費目 農林業協力費 ③ 相手国受入機関 林野庁 ④ 協力概要 (第2年次) 森木の適切な開発に資するため、木材加 工及び造林の分野における技術訓練を行 う。R/Dにもとづき54年度は準備のた めに専門家2名を派遣、実施設計・計画打 合せ及び機材を供与する。	調査員派遣 専門家派遣 長期 2名 短期 3名 機材(千円) 当初計画 繰越分 (0) 新規分 (60,000)													実施設計 計画打合せ 育苗、造林 林業土木 育種 土壌 専門家派遣状況 (短・長期) 継続(A) 新規(B) 帰国(C) 現在在任者数 (A)+(B)-(C) 人数 0 5 2 3	
	研修員受入 一般 2名														

(農林水産業協働事業—続き—)

【国名】プロジェクト名称等	協働内容	期 間													分野等											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3													
<p>【ペルー】 生鮮食品流通改善 ① 協働期間 ② 予算費目 産農間協働費 ③ 相手国受入機関 農業食糧省 ④ 協働概要(第2年次) 生産と流通と円滑に結びシステムを確立 するために生産物と集出荷する農協の育成等 を(調)・野菜・果物の流通改善を図る協働。 54年度の事前調査を受けて55年度は、 2名の長期研修員を派遣し、ペー国の物流 競争力を調査すると共に、ペー政府と 協議し、本件協働基本構想を策定した。</p>	<p>調査員派遣 専門家派遣 長期 0 短期 0 長期研修員 2名 機材(千円) 当初計画 繰越分(0) 新規分(0) 研修員受入 高級(準高級) 一般</p>															<p>流通組織 農産経営 専門家派遣状況(短・長期)</p> <table border="1"> <tr> <td></td><td>継続(A)</td><td>新規(B)</td><td>帰国(C)</td><td>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td><td>0</td><td>(長期研修員) 2</td><td>0</td><td>0</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人数	0	(長期研修員) 2	0	0
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																						
人数	0	(長期研修員) 2	0	0																						
<p>【ペルー】 水産加工センター ① 協働期間 協定 57.10.13 ~ 58.10.12 ② 予算費目 技術協働センター費 ③ 相手国受入機関 漁業省 ④ 協働概要(第4年次) ペー政府の食料漁業開発政策に基づき 水産加工政府の所定施設及び改善を行う。 54年度(専門家派遣・機材供与・研修員 受入)を実施した。</p>	<p>調査員派遣 専門家派遣 長期 7名 短期 機材(千円) 当初計画 繰越分() 新規分(38,000) 研修員受入 一般 3名</p>															<p>首席顧問 一般加工機械 電話製造 緩凍品製造 冷凍食品 化学分析 細菌検査 冷凍機 販 業務調査 専門家派遣状況(短・長期)</p> <table border="1"> <tr> <td></td><td>継続(A)</td><td>新規(B)</td><td>帰国(C)</td><td>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td><td>3</td><td>6</td><td>0</td><td>9</td> </tr> </table> <p>← 2名 ← 1名</p>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人数	3	6	0	9
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																						
人数	3	6	0	9																						

(農林水産省の事業一統)

[国名] プロジェクト名称等	協力の内容	実 績												分 野 等										
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3											
[ウルグアイ] 野菜研究 ① 協力の期間 53.7.17~56.7.18 (R/D) ② 予算費目 農林省協力費 ③ 相手国受入機関 農業水産省 ④ 協力の概要(第1年次) ウルグアイにおける野菜の生産増大・品質改善、周年栽培を目的として、野菜栽培技術の改良のための研究を行う。54年度は野菜派遣、巡回指導チームの派遣、研修員受入及び機材の供与した。	調査員派遣													巡回指導 322 48										
	専門家派遣 長期 4名 短期 3名 機材(予付) 当初計画 繰越分(1,810) 新規分(57,980) 研修員受入 高級(非高級)2名 一般 2名														野菜育種 野菜栽培(1名) 運送員 馬鈴薯ウイルス 植物病理 野菜栽培 専門家派遣状況(短・長期)									
														<table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在在任者数(A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>3</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)	人数	4	3	4	3
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)																				
人数	4	3	4	3																				
														馬鈴薯栽培 野菜栽培										
[ミクロネシア] 漁業開発 ① 協力の期間 53.4.1~56.3.31 (R/D) ② 予算費目 農林省協力費 ③ 相手国受入機関 高等事務官庁海洋資源課 ④ 協力の概要(第2年次) ミクロネシアのカンボジ漁業開発に際して、餌料調査の技術研修を行うための技術指導訓練及び漁船等の機材供与に協力する。54年度は専門家派遣及び機材供与研修員受入を完了した。	調査員派遣																							
	専門家派遣12名 長期 6名 短期 6名 機材(予付) 当初計画 繰越分(0) 新規分(27052) 研修員受入 準高級 1名														首席顧問 漁撈長 機関長 餌料漁獲 2名 業務調整 計6名 甲板長 機関修理 餌料採捕 品質管理(2) 専門家派遣状況(短・長期)									
														<table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在在任者数(A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>1</td> <td>11</td> <td>4</td> <td>8</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)	人数	1	11	4	8
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)																				
人数	1	11	4	8																				

8. 鉱工業開発協力事業

産 開 (鉱 工 部)

[国名] プロジェクト名称等	協 力 内 容	実 績												分 野 等									
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3										
[ブラジル] 鉱物資源開発 ① 協定期間 53.4.1 ~ 56.3.31 ② 予算費目 産業開発協力費 ③ 相手国受入機関 鉱山動力省 鉱産局 (DNPM) ④ 協力概要 (第2年次) 国産非鉄金属鉱業開発計画を策定し、国内の自給を目指すための既存データの解析、開発の経済性の検討、鉱山開発計画立案等の協力を行う。 54年度は前年度に引き続き協力を実施した。	調査団派遣													3名×12月(探査) 5名×12月 (探査1名、採鉱1名、選鉱1名、鉱石処理1名、 鉱害防止1名)									
	専門家派遣 長期 8名 短期 0 機 材(千円) 当初計画 繰越分 (0) 新規分 (0) 研修員受入 高級(準高級) 3名 一般 0														専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在在任者数(A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>8</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>5</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)	人数	8	0
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)																			
人数	8	0	3	5																			
[ボリビア] 亜鉛等有用鉱物回収開発 ① 協定期間 52.2.21 ~ 55.2.20 フォローアップ1年間(専門家、研修員) ② 予算費目 産業開発協力費 ③ 相手国受入機関 ボリビア鉱山公社 (COMIBOL) ④ 協力概要 (第4年次) ボリビア共和国政府鉱山公社所有のボリバール鉱山に対し、複雑硫黄鉱カウ錫、亜鉛、鉛等の有用鉱物を有効に回収するための技術協力であり、54年度は浮遊硫黄パイロットプラントの試験操業を行い好成績をあげた。 R/D 期間終了後1年間のフォローアップ(専門家派遣 - 研修員受入)を行うことになった。	調査団派遣													2名×11月(選鉱技術) 1名×11月() 3名×20日(エバリエーション) 1名×12日()									
	専門家派遣 長期 2名 短期 5名 機 材(千円) 当初計画 繰越分 (0) 新規分 (0) 研修員受入 高級 0 一般 1名														専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在在任者数(A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>3</td> <td>4</td> <td>7</td> <td>0</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)	人数	3	4
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)																			
人数	3	4	7	0																			

(鉱工業開発協力事業—続き)

〔国名〕 プロジェクト名称等	協力内容	実									積			分 野 等											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3												
〔ブラジル〕 パラナ州中小工業開発 ① 協定期間 R/D未署名 ② 予算費目 産業開発協力費 ③ 相手国受入機関 パラナ州技術研究所(TECPAR) ④ 協力概要(第年次) ブラジル連邦共和国パラナ州の工業技術センター設立構想を支援し、機械・金属・電気・電子各分野におけるパラナ州工業開発促進に貢献することを目標とし、特に、パラナ州内企業に対して人材の供給、部品等の試験・検査及び技術指導を行うものとし、54年度は事前調査団と長期調査員を派遣した。	調査団派遣						←→								5名×19日(事前調査)										
	専門員派遣 長期 0名 短期 4名															← 3名×12日(4-ム・リーダー兼機械-般、建築、計測機器) ← 1名×12日(金属技術)									
	機材(千円) 当初計画 繰越分 (0) 新規分 (0)														専門員派遣状況(短・長期)										
	研修員受入 高級(準高級) 0 一般 0														<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在任者数(A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>0</td> <td>4</td> </tr> </tbody> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)	人数	0	4	0	4
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)																					
人数	0	4	0	4																					
〔スリランカ〕 適正技術研究開発 ① 協定期間 R/D未署名 ② 予算費目 産業開発協力費 ③ 相手国受入機関 工業科学省工業開発庁(IDB) ④ 協力概要(第年次) スリランカに適正技術研究開発センターを設立し地域開発に役立つ中小規模適正技術を研究開発するとともにそれらの技術を普及させることにより同国の中小工業の開発促進に寄与するもので、54年度は事前調査及びコンタクトミッションを派遣した。	調査団派遣								←→						1名×9日(コンタクトミッション) 4名×19日(事前調査)										
	専門員派遣 長期 0 短期 0															専門員派遣状況(短・長期)									
	機材(千円) 当初計画 繰越分 (0) 新規分 (0)														<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在任者数(A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)																					
人数	0	0	0	0																					
	研修員受入 高級(準高級) 0 一般 0																								

(鉄工業開発協力事業—統計—)

(国名) プロジェクト名称等	協力内容	実 績												分 野 等											
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3												
(メキシコ) 選鉱・製錬技術育成 ① 協定期間 54.12.5 ~ 58.12.4 ② 予算費目 産業開発協力費 ③ 相手国受入機関 固有財産工業振興省鉱業振 興局(CFM) ④ 協力概要(第1年次) 鉱業振興局選鉱製錬研究所に対して研究 開発、現場指導能力・人材養成の3機能を 付与するための技術協力。協力分野は酸化 銅鉱石の処理及び複雑硫化鉄の選鉱分離で ある。 54年度は、長期調査員の派遣及び異種 調査団を派遣してR/Dを締結した。	調査団派遣 専門家派遣 長期 0 短期 4名 (長期調査員) 機材(4円) 当初計画 繰越分 (0) 新規分 (0) 研修員受入 高級(準高級) 0 一般 0									←→					3名×15日(実施協議) 2名×3月(鉱物調査・選鉱) 2名×1.5月(製錬・分析) 専門家派遣状況(短・長期)										
													<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>					継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人数	0	4	4
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																					
人数	0	4	4	0																					
(ネパール) 国内工業育成 ① 協定期間 R/D未署名 ② 予算費目 産業開発協力費 ③ 相手国受入機関 商工業省・国内工業局(DCVI) ④ 協力概要(第1年次) 第6次経済開発5カ年計画で最重点目標 とされている国内工業の振興(業種とし ては既製紙及び手すき紙の製造)と側面から 援助する。 54年度は事前調査団(繰越)と長期調 査員を派遣した。	調査団派遣 専門家派遣 長期 0 短期 3名 (長期調査員) 機材(4円) 当初計画 繰越分 (0) 新規分 (0) 研修員受入 高級(準高級) 0 一般 0				←→										5名×17日(事前調査・繰越) 3名×3月(手すき紙、既製紙、プロジェクトフォーメーション) 専門家派遣状況(短・長期)										
													<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>継続(A)</th> <th>新規(B)</th> <th>帰国(C)</th> <th>現在在任者数 (A)+(B)-(C)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>3</td> <td>3</td> <td>0</td> </tr> </tbody> </table>					継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)	人数	0	3	3
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数 (A)+(B)-(C)																					
人数	0	3	3	0																					

(鉱工業開発協力事業—続き)

〔国名〕 プロジェクト名称等	協力内容	興 績												分 野 等					
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3						
〔インドネシア〕 建材開発 ① 協定期間 52.7.19~57.7.18 ② 予算費目 産業開発協力費 ③ 相手国受入機関 (公共事業省 建築研究所(DBR) 工業省工業研究所(CRI)) ④ 協力概要(第2年次) 地場資源を利用した建材開発に関する協 力で、54年度は、パルプセメントボ ード製造パイロットプラント(一部)を供与し、 人工軽量骨材製造パイロットプラントの詳 細設計のための基礎調査を行う。	調査団派遣													←→	5名×16日(計画打合せ)				
	専門家派遣 長期 0 短期 5名														←→	3名×1月(人工軽量骨材基礎調査) 1名×18日() 1名×38日(プロジェクトの総合検討)			
	機材(千円) 当初計画 繰越分(0) 新規分(52280)														←→	専門家派遣状況(短・長期)			
	研修員受入 高級(準高級) 0 一般 3名														←→	2名×6ヵ月 } (パルプセメントボ 1名×2ヵ月 } (パルプセメントボ ード)			
〔ペルー〕 鉱山保安技術育成 ① 協定期間 52.10.28~56.12.31 ② 予算費目 産業開発協力費 ③ 相手国受入機関 勸力鉱山省、地質 鉱山製錬研究所 (INGEMMET) ペルー中央鉱山公社(CENTROMIN) ④ 協力概要(第3年次) 基礎的保安技術の移転、保安技術の生産 技術への応用、鉱山保安体制の整備の3分 野からなる技術協力をを行う。 54年度は産前指導を中心とする巡回指 導チームの派遣、浮選機の機材供与及びカ ウンタパートの受入れを行った。	調査団派遣														3名×22日(巡回指導)				
	専門家派遣 長期 6名 短期 4名															3名×12月(4-7.採鉱、選鉱) 1名×6.5月(保安体制) 1名×5.5月() (交替) 1名×23日(堆積場) 3名×34日(袋球) 1名×10日() 専門家派遣状況(短・長期)			
	機材(千円) 当初計画 繰越分(0) 新規分(40910)														←→	繰越(A) 新規(B) 帰国(C) 現在在任者数 (A)+(B)-(C) 人 数 4 2 1 5			
	研修員受入 高級(準高級) 0 一般 2名														←→	1名×2日(鉱山保安対策) 1名×2.5月(採鉱)			

(鉱工業開発協力事業—続き)

[国名] プロジェクト名称等	協力内容	実施												分野				
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3					
[フィリピン] パーティクルボード開発 ① 協定期間 52.3.18 ~ 55.3.17 55.3.18 ~ 57.1.31 ② 予算費目 産業開発協力費 ③ 相手国受入機関 国家科学開発局林産物開発研究所 (FORPRIDE COM) ④ 協力概要(第4年次) 地場資源の再生利用を図り、建材及び 家具材向けのパーティクルボードの工業化 を目的とした協力である。 54年度はとくに建材材とを中心に専 門家派遣、研修員の受入れを行った。	調査団派遣 専門家派遣 長期 0 短期 7名 機材(4円) 当初計画 繰越分(3,629) 新規分(157,207) 研修員受入 高級(準高級) 1名 一般 3名																4名×18日(巡回指導) 1名×1ヵ月(機材据付準備) 1名×3ヵ月(機材据付) 2名×3ヵ月() 1名×2.5ヵ月() 2名×3ヵ月() 専門家派遣状況(短・長期)	
	繰越分(3,629) 新規分(157,207)	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(タイ) 天然ゴム品質改善 ① 協定期間 52.4.1 ~ 55.3.31 ② 予算費目 産業開発協力費 ③ 相手国受入機関 農業・協同組合省ゴム研究所(RRI) ④ 協力概要(第3年次) 日本、アセアン合成ゴムフォーラム第3回 事務レベル会合で、アセアンの主要輸出品 目である天然ゴムの品質向上のための協力 要請があり、我が国タイのゴム研究所に 対し、品質管理の促進、既存産業に対する 現場指導及び人材養成を目的として協力を するもので、54年度は前年度に引き続き協力 を行った。	調査団派遣 専門家派遣 長期 3名 短期 5名 機材(4円) 当初計画 繰越分() 新規分(11,744) 研修員受入 高級(準高級) 2名 一般 0																1名×12月(チーフ・アドバイザー) 1名×6月(品質管理) 1名×6月() 2名×1.5月(機材据付) 1名×3.5日(運搬指導) 2名×12日(R/D延長交渉) 専門家派遣状況(短・長期)	
	繰越分() 新規分(11,744)	△	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	研修員受入 高級(準高級) 2名 一般 0																	2名×14日(視察・準高級)

(鉄工業開発協力事業— 続き)

〔回名〕 プロジェクト名称等	協力内容	実 績												分 野 等																																																																																													
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3																																																																																														
〔チリ〕 銅製錬開発 1 協定期間 52.11.29~56.3.16 2 予算費目 産業開発協力費 3 相手国受入機関 鉱山省中央鉱山冶金研究所(CIMM) 4 協力概要(第3年次) チリの銅産業振興のため、上記機関に次の技能を授けず。① 研究開発能力の促進 ② 既存製錬所に対する共同体制の確立 ③ 人材の養成 54年度は、前年度に引き続き上記の協力を実施した。	調査員派遣																																																																																																										
	専門系派遣 長期 4名 短期 3名																																																																																																										
	機材(4円) 当初計画 繰越分 0 新規分 (11,355)																																																																																																										
	研修員受入 高級(準高級) 3名 一般 1名																																																																																																										
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="18" style="text-align: center;">専門系派遣状況(短・長期)</td> </tr> <tr> <td></td><td>継続(A)</td><td>新規(B)</td><td>帰国(C)</td><td>現在在任者数(A)+(B)-(C)</td><td colspan="13"></td> </tr> <tr> <td>人数</td><td>3</td><td>4</td><td>2</td><td>5</td><td colspan="13"></td> </tr> <tr> <td colspan="18">2名×1月(視察・高級) / 1名×2.6日(視察・準高級) 1名×2月(保守管理)</td> </tr> </table>																		専門系派遣状況(短・長期)																			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)														人数	3	4	2	5														2名×1月(視察・高級) / 1名×2.6日(視察・準高級) 1名×2月(保守管理)																																			
専門系派遣状況(短・長期)																																																																																																											
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)																																																																																																							
人数	3	4	2	5																																																																																																							
2名×1月(視察・高級) / 1名×2.6日(視察・準高級) 1名×2月(保守管理)																																																																																																											
〔タンザニア〕 キリマンジャロ州中小工業開発 ① 協定期間 53.9.13~57.9.12 ② 予算費目 産業開発協力費 ③ 相手国受入機関 総理府キリマンジャロ州政府(RDD) ④ 協力概要(第2年次) キリマンジャロ州総合開発計画実施の一環として、キリマンジャロ工業開発センター(KIDC)を設立し、現物指導、試験的生産及び人材の訓練を行うことにより、キリマンジャロ州の中小規模工業の振興を図る。 54年度は無償による建物・機材の供与を行った。	調査員派遣																																																																																																										
	専門系派遣 長期 0 短期 2名																																																																																																										
	機材(4円) 当初計画 繰越分 (0) 新規分 (0)																																																																																																										
	研修員受入 高級(準高級) 0 一般 1名																																																																																																										
<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td colspan="18" style="text-align: center;">専門系派遣状況(短・長期)</td> </tr> <tr> <td></td><td>継続(A)</td><td>新規(B)</td><td>帰国(C)</td><td>現在在任者数(A)+(B)-(C)</td><td colspan="13"></td> </tr> <tr> <td>人数</td><td>0</td><td>2</td><td>2</td><td>0</td><td colspan="13"></td> </tr> <tr> <td colspan="18">2名×15日(機械・窯業・銅製錬)</td> </tr> <tr> <td colspan="18">1名×11月(金属加工)</td> </tr> </table>																		専門系派遣状況(短・長期)																			継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)														人数	0	2	2	0														2名×15日(機械・窯業・銅製錬)																		1名×11月(金属加工)																	
専門系派遣状況(短・長期)																																																																																																											
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)																																																																																																							
人数	0	2	2	0																																																																																																							
2名×15日(機械・窯業・銅製錬)																																																																																																											
1名×11月(金属加工)																																																																																																											

(鉱工業開発協力事業—続き)

[国名] プロジェクト名称等	協力内容	実 績												分 野 等					
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3						
[フィリピン] 金属鑄造技術 ① 協定期間 R/D未署名 ② 予算費目 技術協力センター費 ③ 相手国受入機関 国家科学開発局及び金属工業研究開発 ④ 協力概要(第1年次) フィリピン国の経済産業中長期開発計画 の一環としての近代鑄造技術育成に協力す る。54年度は当該技術導入の要請を踏え その内容の妥当性、可能性の調査、確認の 為、事前調査団を派遣。この調査結果に基 づき詳細な技術協力内容を立案することと する。	調査団派遣				↔										5名×15日(事前調査)				
	専門家派遣 長期 0 短期 0														専門家派遣状況(短・長期)				
	機材(4円) 当初計画 繰越分(0) 新規分(0)														継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在籍数 (A)+(B)-(C)	
	研修員受入 高級(準高級) 0 一般 0														人 数	0	0	0	0
[イラク] 電気産業訓練 ① 協定期間 50.9.7~55.1.6(開所式 55.1.6) 55.1.7~56.7.31 ② 予算費目 技術協力センター費 ③ 相手国受入機関 工業・鉱物省工業開発局(501D) ④ 協力概要(第5年次) イラク国における(1)エレベーター(2) 冷凍空調機器、(3)一般電子機器(ラジオ、 テレビ、電卓)の各コースでの訓練によっ て人材育成を図る。 54年度は冷凍空調機器修繕専門家派遣 一般電子機器部門の機材供与、エバリエ ションチーム派遣を行った。	調査団派遣											↔		4名×11日(エバリエーション(線画))					
	専門家派遣 長期 5名 短期 13名	→													1名×12月(エレベーター) 1名×4日(冷凍空調) 2名×12月(チーフ、一般電子) 1名×8月(冷凍空調) 4名×3.5月(エレベーター据付) 2名×38日(エレベーター据付) 1名×7日(冷凍空調) 2名×10日(冷凍空調据付) 1名×3日(冷凍空調据付) 2名×3日() 1名×11日(一般電子)				
	機材(4円) 当初計画 繰越分(0) 新規分(9947)	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在籍数 (A)+(B)-(C)	
	研修員受入 高級(準高級) 0 一般 0														人 数	8	10	14	4

(該工業開発協力事業—続き)

(国 名) プロジェクト名称等	協 力 内 容	実 績												分 野 等					
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3						
(インドネシア) 化学工業研修開発 ① 協定期間 R/D 未署名 ② 予算費目 技術協カセンター費 ③ 相手国受入機関 工業省工業訓練センター ④ 協力概要 (第1年次) 「スマトラ化学工業研修開発センター」設立の協力要請に対する事前調査の結果、その重要性が確認された。センターの機能は人材養成 (入学資格高校生、修業年限3年、化学工業を対象とした専門教育を行なう)、技術開発・技術指導の部門。	調査団派遣							←→								5名 × 22日 (事前調査 (繰越))			
	専門家派遣 長期 0 短期 0															専門家派遣状況 (短・長期)			
	機 材 (千円) 当初計画 繰越分 (0) 新規分 (0)															継 続 (A)	新 規 (B)	帰 国 (C)	現在在任者数 (A) + (B) - (C)
	研修員受入 高級 (準高級) 0 一 般 0															人 数	0	0	0
(エジプト) 繊維研究開発 ① 協定期間 R/D 未署名 ② 予算費目 技術協カセンター費 ③ 相手国受入機関 国立研究センター (NRC) ④ 協力概要 (第2年次) 「エ」政府は主要な輸出品である繊維産業の振興を意図し、N.R.Cの繊維部門の拡充強化を行うため、我が国に協力を要請してきた。53年度に事前調査団を派遣した結果、協力の成果が期待出来るとの結論が出た。	調査団派遣																		
	専門家派遣 長期 0 短期 0														専門家派遣状況 (短・長期)				
	機 材 (千円) 当初計画 繰越分 (0) 新規分 (0)														継 続 (A)	新 規 (B)	帰 国 (C)	現在在任者数 (A) + (B) - (C)	
	研修員受入 高級 (準高級) 0 一 般 0														人 数	0	0	0	0

(鉄工業開発協力事業—続き)

(国名) プロジェクト名称等	協力内容	実績													分野等										
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3												
〔ビルマ〕 冶金研究開発 ① 協定期間 55.2.6(仮署名)R/署名後4年間の予定 ② 予算費目 技術協力センター費 ③ 相手国受入機関 鉄山省地質探査局(D.G.S.E) ④ 協力概要(第1年次) ビルマの金属鉱物資源の開発に必要な基礎研究並びに実用化試験を実施し、併せて分析、選鉱、製錬各分野にわたる技術者の養成、訓練を行う冶金研究開発センターの設立に協力する。 54年度は、日本側援助によるセンター建物に関するE/A交換署名が行われ、建物の工事がスタートすると共に実施協議チームの派遣を行う。	調査団派遣 専門家派遣 長期 0 短期 0 機材(千円) 当初計画 繰越分(0) 新規分(0) 研修員受入 高級(準高級) 0 一級 2名														5名×14日(実施協議) 専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在在任者数(A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)	人数	0	0	0	0
		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)																				
人数	0	0	0	0																					
															2名×21日(視察)										
〔マレーシア〕 金属工業技術 ① 協定期間 52.8.11～52.8.10 ② 予算費目 技術協力センター費 ③ 相手国受入機関 科学技術環境省工業標準研究所(SIRIM) ④ 協力概要(第1年次) ①巡回指導、②試験検査、③情報提供、④試験加工、⑤指導員養成の機能をもつ、金属工業技術センターを設置し、プレス金型、プレス加工、溶接、メッキの4業種において技術協力を実施し、マレーシアの金属部品工業の育成をめざす。 54年度はプレス関係の機材を供与し、プレス及び情報の専門家と派遣する。	調査団派遣 専門家派遣 長期 6名 短期 2名 機材(千円) 当初計画 繰越分(3,727) 新規分(1,227,787) 研修員受入 高級(準高級) 2名 一級 4名													4名×3日(計画打合せ) 3名×12月(溶接、溶接、メッキ) 2名×12月(プレス金型、プレス加工) 1名×5月(情報) 2名×24日(機械振打、試験検査)											
																専門家派遣状況(短・長期) <table border="1"> <tr> <td></td> <td>継続(A)</td> <td>新規(B)</td> <td>帰国(C)</td> <td>現在在任者数(A)+(B)-(C)</td> </tr> <tr> <td>人数</td> <td>5</td> <td>3</td> <td>2</td> <td>6</td> </tr> </table>		継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)	人数	5	3	2
	継続(A)	新規(B)	帰国(C)	現在在任者数(A)+(B)-(C)																					
人数	5	3	2	6																					

(鉄工業開発協力事業 続き)

〔国名〕 プロジェクト名称等	協力内容	実 績												分 野 等	
		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
〔フィリピン〕 窯業研究開発 ① 協定期間 54.7.16 ~ 55.7.15 ② 予算費目 技術協力センター費 ③ 相手国受入機関 国立科学技術研究所(NIST) ④ 協力概要(第4年次) NIST工業研究センターの窯業部を拡大し、窯業研究開発センターを設立して、研究開発、工場窯業の振興、人材の養成を行う。 54年度は生産技術指導に重点を置き協力する。	調査団派遣													←→	4名×21日(機械修理)
	専門家派遣 長期 6名 短期 5名														6名×12月 { チーフアドバイザー、炭素鉱物、原料精製、物理試験 窯業生産技術、プログラム分析 1名×7日(機械据付) 1名×2月(化学分析)、1名×2月(機械据付) 1名×2月(製造技術)、1名×7日(機械据付)
	機材(千円) 当初計画 繰越分 (0) 新規分 (32,115)														専 門 家 派 遣 状 況 (短 ・ 長 期)
	研修員受入 高級(準高級) 0名 一般 6名														継 続 (A) 新 規 (B) 帰 国 (C) 現 在 任 者 数 (A)+(B)-(C) 人 数 7 4 4 7
〔タイ〕 家具産業振興開発 ① 協定期間 54.11.25 ~ 56.11.24 ② 予算費目 技術協力センター費 ③ 相手国受入機関 工業省工業指導所(ISI) ④ 協力概要(第3年次) ISIの木工部門を拡大して家具産業振興センターを設立し、家具産業の振興を図るための協力を行った。 54年度は協力の最終年度に当るので、エバリュエーションチームを派遣して協力の成果を評価する。	調査団派遣														4名×14日(エバリュエーション)
	専門家派遣 長期 4名 短期 8名														2名×8月(木材加工 2名) (材料試験 1名) 1名×9月(デザイン 1名) 1名×10月(木材加工 1名) 3名×16日(機械据付) 1名×10日(木工指導) 2名×15日(増設マーケティング、品質管理) 1名×21日(刃物研磨) 1名×1月(成型合板)
	機材(千円) 当初計画 繰越分 (0) 新規分 (0)														専 門 家 派 遣 状 況 (短 ・ 長 期)
	研修員受入 高級(準高級) 0 一般 0														継 続 (A) 新 規 (B) 帰 国 (C) 現 在 任 者 数 (A)+(B)-(C) 人 数 8 4 12 0

9. 青年海外協力隊事業

(1) 青年海外協力隊 昭和54年度

区分	月別												備考
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
1. 募集・広報	募集 54/2.4次隊 (4/1~5/31)								募集 55/1.2次隊 (10/15~11/30)				
2. 選考 (第一次旭方選考) (第二次選考)			筆記試験 (7/15)		面接試験 (8/13~8/18)				筆記試験 (1/13)		面接試験 (2/8~2/23)		
3. 訓練	(54/1次隊) 左尾 94名 (4/1~4/30)		駒ヶ根 88名 (5/1~7/13)						(54/3次隊) 左尾 84名 (10/1~10/30)		駒ヶ根 83名 (10/31~1/17)		
			(54/2次隊) 左尾 84名 (6/15~7/14)		駒ヶ根 86名 (7/15~9/29)				(54/4次隊) 左尾 82名 (12/10~1/14)		駒ヶ根 85名 (1/15~3/29)		
4. 派遣 (現地研修訓練) (海外協力活動)	(約1ヶ月) 53/Ⅱ後期組 (4/4~4/30) (任期2年)				(約1ヶ月) 54/1次隊 (8/5~8/30) (任期2年)		(約1ヶ月) 54/2次隊 (10/7~11/30) (任期2年)				(約1ヶ月) 55/3次隊 (2/8~3/30) (任期2年)		
5. 隊員プロジェクト調査 (派遣前調査 帰国調査 巡回指導)	通年												
6. 地方対策 (事業活性化)	通年												
7. 帰国隊員対策 (帰国)	(51/Ⅱ後期組)				(52/Ⅰ前期組)				(52/Ⅰ後期組)				
8. その他 ① 隊員社行会 ② 協力隊運営委員会 ③ 新規派遣用	(2ヶ月) リベリア ソロバ		(5/18)		54/1次隊 (7/17)		54/2次 (9/28) (第21回) (9/17)		(第22回) (11/8)		(第23回) (12/13)		54/3次 (1/17) 54/4次 (3/26) (第24回) (3/17)
											(1ヶ月) ペルー		

(2) 派遣国別実績

派遣国	区分	年間計画数	実績			(C) 当年度帰国者累計	3月末現在在任者 (A+B)-(C)	備考
			(A) 前年度より継続者	(B) 当年度派遣者累計	小計(A+B)			
(アジア)								
1	ラオス	0						
2	フィリピン	110	68	34	102	18	84	
3	マレーシア	96	63	20	83	30	53	
4	インド	0						
5	ネパール	75	42	17	59	17	42	
6	バンラウティシュ	78	42	22	64	15	49	
(オセアニア)								
1	西モロ	35	10	13	23	6	17	
2	トンガ	5	4		4	2	2	
3	ソロモン	5	0	2	2	0	2	
(中近東)								
1	モロッコ	48	20	21	41	6	35	
2	ケニア	62	27	11	38	15	23	
3	シリア	47	25	5	30	11	19	
4	イラン	0						
5	北イエメン	3	2	0	2	0	2	
6	南イエメン	0						
(アフリカ)								
1	ケニア	103	68	45	113	24	89	
2	タンザニア	61	30	17	47	10	37	
3	マニウイ	121	80	53	133	32	101	
4	チャド	82	44	20	64	23	41	
5	エトピア	5	1	6	7	0	7	
6	ガナ	46	30	20	50	14	36	
7	レソト	1	1	0	1	1	0	
8	リベリア	0	0	8	8	0	8	
9	ボツワナ		0	1	1	0	1	
(中南米)								
1	エルサルバドル	0	10	0	10	10	0	
2	コスタリカ	28	14	10	24	5	19	
3	ホンデュラス	23	25	13	38	4	34	
4	パラグアイ	25	8	12	20	1	19	
5	ボリウイ	7	8	1	9	0	9	
6	ペルー		0	1	1	0	0	
	計	1066	622	352	974	244	730	JV SV UNV 調

(3) 54年度訓練期間

	広尾	駒ヶ根
1次	4/1 ~ 4/30 7/15 ~ 7/17	5/1 ~ 7/14
2次	6/15 ~ 7/14 7/27 ~ 8/29	7/15 ~ 9/26
3次	10/1 ~ 10/30 1/15 ~ 1/17	10/31 ~ 1/14
4次	12/10 ~ 1/14 3/27 ~ 3/29	1/15 ~ 3/26